

**With コロナにおける心の中医学的ケア**

(有) 松江堂薬局 薬剤師

松江 一彦

after コロナ、with コロナとよく言われるようになってきた。しばらくは新型コロナウイルスと共存していかなければならない。「3密」をキーワードにした社会構造の変化は人々の生活様式、価値観などに大きな影響を与えている。コロナうつ、デジタル眼精疲労、マスク皮膚炎などの新しい言葉も現れ始めた。

なかでも、9月の自殺者数が1,805人となり昨年同月に比べて143人(8.6%)の増加をみた厚労省は重く受けとめており COVID-19 との関係についても分析をしている。

このような外的環境の変化から生じる感情の変化を致病因子とする五志七情学説を持つ中医学は、こころのケアに役立ち自殺回避につながるのではないかと考える。しかし、七情による病変は単純ではなくクライアントの知的レベル、心情などで常に変化している。ここではそれらの要素を確認しながら薬以外に中医心理療法、五音療法を使いこころの不安定をケアした症例を紹介する